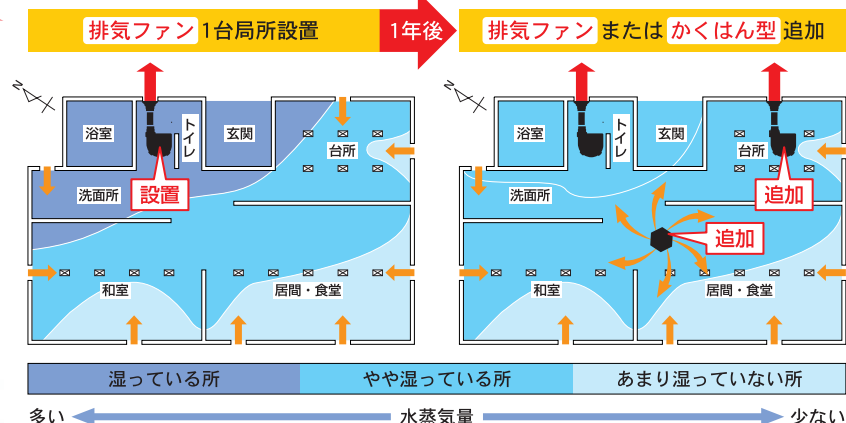


床下換気ベーシックタイプ近日発売開始

せっかく床下換気の必要性を理解してもらっても、特にシロアリ駆除や修繕リフォームなどの抱き合わせで提案した場合に、床下換気扇にまで予算がまわらないことも。そういった機会損失を少しでも減らすための低予算タイプとして、局所などの水回りの床下部分への設置をおすすめします。



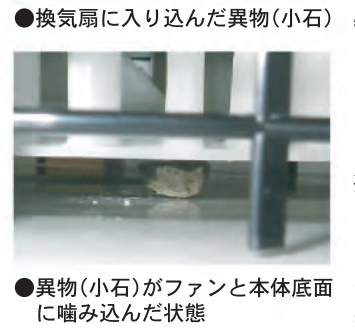
1年点検で床下改善状況を診断



その後の定期点検を通じて床下の状況いかによっては排気型や攪拌・拡散型追加の提案を実施してください。  
※ベーシックタイプ新築標準採用の場合は湿度センサー付き24時間コントローラーでも対応可能です(その場合2速モーター仕様製品となります)



換気扇への異物混入にご注意下さい



換気扇に異物(小石、調質剤、養生部材等)が入り込むと、異音や回転不具合に至る場合があります。特にブロワーや攪拌タイプは、ファンと本体底面との間に異物が噛み込むと、回転不能(ロック)に至ることもありますので、設置の際はご注意ください。  
また設置後、換気扇が動作しない場合は、配線のチェックに加え、異物噛み込みが無いかもご確認くださいませようお願いいたします。  
ファンの固着が感じられる(手やドライバーでファンを触って、引っ掛かりがある)場合、異物噛み込みの可能性が考えられます。その際はファンや本体を揺すったり軽く叩くなど、振動を加えながら本体を傾け、異物を取り除いてください。

テクニカルセンター「研修室」をご活用ください



弊社テクニカルセンター1階には、研修室やミーティングスペースがあります。定員は約30人まで。プロジェクター等設備も整っておりますので、弊社視察の際は研修会や会議等にご活用ください。  
※要予約

HISTORY OF SEIHO 小史 S  
第38回 西邦スポーツランド構想 - 前編 -

この半生記もいよいよ終章になった。私が描いていく計画(構想)の一端を披露して結びたい。  
その構想とは、「西邦スポーツランド(仮称)である。これを私の夢の最初の実験場とした」と思いはじめたのは、昭和六十三年のことだった。この年の決算が大幅な赤字に転じたのをきっかけに、私は長年暖めてきた構想を、いよいよ実行に移すときが近づいたと感じた。  
独立したころから私は夢を描くようになった。いや、独立こそが、私の夢のはじまりであったのだ。十年ほど前から、その夢がさらに大きく広がって、漠然としたモヤの中から骨格が浮かび、具体的なカタチになってきた。製造業一筋に生きてきたから、製造業では飽き足らなくなり、まったく異なることを求めたくなった、とも言えよう。  
製造業では、モノを作って納品しても直ちに現金が入るのはいまだに約束手形の世界である。支払が丸〇日・二〇日先になるのが常だ。入金金が三ヶ月先やそれ以上に延びたのでは、毎月の収支決算はできない。経営者にとって決算は、学期末に子供がもってくる通知表のようなものであった。評価が5であれば立派だが、4であったり、3の場合もあるだろう。1や2の場合は努力が足りない。  
当社は創業以来、手形を一切使わないことを基本としてきた。そして大手企業に負けない内容をいくつが目指している。その一は、決算の迅速化である。短期月次決算で、月末締め、遅くとも三日後に確定することを打ち出した。これはすでに実施している。次は売上利益を一〇%以上確保すること。これは過去六年連続増収増益の達成である。これも六年間達成し、目標に向かって更新中である。  
数字は正直である。あらゆる口実や粉飾を拒絶し、実態を白日のもとにさらけ出す。だからシビアである。また、百万語をもって語るよりも、数字は雄弁である。そして、説得力も強い。  
その評価を毎月やりたい。それが数ヶ月先にはかわらないというふうな気の長いことは、どだい私の性に合わない。できることなら、毎日評価したい。その日のうちに結果を確認しないと気が済まない。そんな性急なところが私にはある。  
そうなのは経営者にとっては、毎日真剣勝負となる。厳しいこと、この上ない。しかし、ゆるま湯につかった状態よりも、鉄板の上でじりじり炒められるような苛酷な状況に身を置いていたほうが、私の性格にあった。自虐的な試みと言われ、でも、ぜひやってみたい。そして経営の腕を試してみたい。  
失敗すれば、裸になればよい。裸になることは怖くない。もともと裸一貫で出発したのだから...その覚悟はいつでもできていたつもりだ。むしろ七十余の社員とその家族、パートナーを抱えている以上、簡単に失敗することはできない。そのことも十分わかっている。もともと成算がないことは、一円だって遣いたくない私の性分だ。成算があるとみていくからこそ、その気になったのだ。

- 特集 ■換気システム買い換えの時期 お客様へご提案ください  
■押入換気扇 取付オプション 取付補強金具  
■ユーザーの安心感UPのために...プロの床下診断キットをおすすめします  
■「長期優良住宅」と小屋裏機械換気の有効性 小屋裏換気をおすすめします
- 床下換気ベーシックタイプ近日発売開始  
□換気扇への異物混入にご注意ください  
□テクニカルセンター「研修室」をご活用ください

挨拶

拝啓 春陽の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てを賜り心より感謝申し上げます。  
春の温暖な気候となり、いよいよ業界では繁忙なシーズンを迎えます。  
消費増税による特需は一段落しましたが、依然甚の景況感を感じるわず、逆に現状の住まいをいかに大切に保全していくかという意識は強くなっていると思われまます。  
さて、弊社では今後、三年・五年後を見据えた展開のひとつとして床下換気システムのベーシックタイプをラインナップに加えました。昨今の経済環境下、ユーザー様において床下換気の必要性は感じながらも予算的に見送ったり、販売店様もその気遣いにて、あえて提案を控えたりと機会損失の場面も多いのではないのでしょうか。そこで、局所対応型の位置づけで予算的に難色を示されるユーザー様向け提案商品としてご活用いただければと考えております。また、コスト的に厳しい要請のある新築標準採用品としても扱いやすいものと思われまます。  
つきましては、取りこぼしのない営業活動を実現させる一つとして、また三年・五年後の顧客数増にもつなげる一策としてぜひともこれまでのラインナップに加えて場面に応じてのご活用をお願い申し上げます。併せてスマートフォン、木材水分計などの床下診断キットのご採用も増えております。数値化、可視化によるユーザー様からの信頼感アップ、誤解を無くするという意味でこちらも積極的にご活用いただければ幸いです。  
まだまだ厳しい情勢は続くものとは思われますが、弊社としてはユーザー様、販売店様にとって有効な情報、商品の開発に努めてまいりますので引き続きご指導ご鞭撻の程宜しく申し上げます。  
敬具  
平成二十六年 四月  
セイホ・プロダクツ株式会社  
代表取締役社長 大石 龍也



## 換気システム買い替えの時期 お客様へご提案ください

### タイマーの交換



さらに効率的な運転を実現させる、最新のタイマーやハイブリッド・コントローラー（排気型+攪拌型設置住宅）への交換を推奨します。

### 買い替えの時期？



買い替えの時期を  
かたから

### 長期使用製品安全点検・表示制度について

設置10年以上経過商品については「長期使用製品安全点検・表示制度」に基づいて点検を実施してください。当社では同制度義務化以降、設計上の標準使用期間を10年に設定しています。

【製造年】2014年  
【設計上の標準使用期間】10年  
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

**まずは動作点検安全対策をおすすめします**



点検のお知らせについては、専用のチラシ及びハガキを準備していますので活用ください。またわかりやすいイラスト入り床下換気扇安全点検チェックシートがございますので点検項目についてはこれに基づき実施してください。



### 設置後10~15年以上経過 床下換気扇

**おすすめ！さらに効果UP**

### 押入換気扇の設置

キャンペーン中



床下だけでなく室内の湿気、換気不足も影響している押入やクローゼットのカビやしみの改善商品としておすすめください。床下換気用タイマーと連動運転させます。

### 次世代型換気扇への買い換え推進

買い換えの際は、従来のパネル型換気扇からブロー型次世代換気扇への買い換えをおすすめします。



パンチングパネル  
換気格子が開けられていても専用パンチングパネルを使ってブロー型換気扇を簡単に設置することが可能です。

### 拡散型ディフューザーの追加



フィットンチップで定期管理を

【年1回交換】

床下の淀んだ空気を活発に動かし排気型換気扇をサポートするディフューザー型送風機は木材の腐朽対策に力を発揮します。標準装備のフィットンチップカートリッジの定期交換で計画的な顧客管理が可能となります。

### さらに小屋裏換気やホームセキュリティのご提案まで

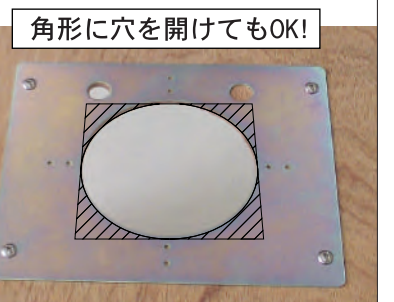


住まいと家族の安心安全をテーマにラインナップされているSEIHO商品を顧客へのさらなるご提案にお役立てください。

## 押入換気扇 取付オプション 取付補強金具

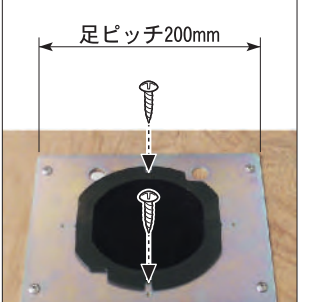
ファンの取付穴を円形(φ105)と角形(□105)開けに対応しました。すのこの足ピッチに合わせて横向き、縦向き両方の取付に対応しました。また、底板に補強が必要な場合にも取付金具を使用することでしっかり取付することができます。

角形に穴を開けてもOK!



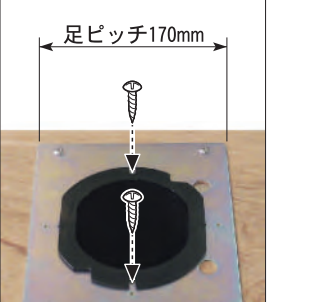
■取付補強金具を取り付けた状態

足ピッチ200mm




■横向き

足ピッチ170mm



■縦向き

**しっかり補強できて安心！**



## ユーザーの安心感UPのために…プロの床下診断キットをおすすめします

### 木材水分計は必需品！

床下の換気不足による湿気などの弊害が反映されるのは土台の木部です。劣悪な状況のまま放置しておくとかびだけではなく木材強度を侵す腐朽菌の発生につながります。含水率を計測することにより木部の状態を数値化、その対策に役立ててください。数値化することはお客様の信頼度向上につながります。



### 床下デモキット

スモークマシンを用いて床下の換気状態を可視化することができます。実感することの難しい床下換気の実態を、床下デモキットを活用してユーザー様に伝えてください。

※商品説明DVDがあります。詳しくは担当営業まで！

### 換気扇なしの場合

思った以上に換気できていないのね



スモークを充満

### 換気扇ありの場合

こんなに換気するの！凄い！



充満したスモークを排気

デモ用の換気扇を使えば実際どれだけ床下の空気を換気するのか一目瞭然。ユーザー様の不安感を取り除くためにも事前にデモすることは重要です。販売後の、誤解や認識不足による余計なクレーム回避策としても有効です。

| 含水率の目安 | 環境改善の対策の必要性                | 製品仕様                             |
|--------|----------------------------|----------------------------------|
| 25%以上  | 環境改善の対策の必要があります。           | ■品名 電気式水分計 AQ-10                 |
| 20~25% | 予防処理や環境改善の対策を行うことをおすすめします。 | ■品番 直流電気抵抗式                      |
| 15~20% | 定期的な点検や予防処置を行うことをおすすめします。  | ■測定範囲 木材 6.5~100% (針葉樹・広葉樹切替)    |
| 15%以下  | 現時点では問題ないと思われる。            | ■表示方式 LCD表示、ホールド機能付              |
|        |                            | ■温度補正 自動温度補正 (ON、OFF可能)          |
|        |                            | ■使用電源 単4アルカリ乾電池×2、オートパワーオフ       |
|        |                            | ■使用温度 0~40℃ (結露しないこと)            |
|        |                            | ■寸法重量 56(W)×123(H)×34(D)mm、約100g |
|        |                            | ■付属品 予備針、六角レンチ、計電機カバー            |

作業性に優れた本体・ブロー型別型もあり。品番 本 体 MR-200 ブロータイプ TP-PA

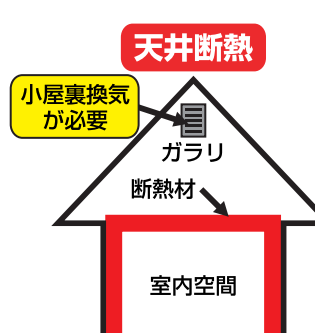
## 「長期優良住宅」と小屋裏機械換気の有効性 小屋裏換気をおすすめします

「長期優良住宅」の小屋裏換気に機械換気の追加をおすすめします。「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」が平成20年12月に公布され、平成21年6月4日に施行されました。そのなかで、劣化の軽減対策として、小屋裏は換気措置が必要となります。(注)

1 小屋裏の劣化対策  
まず、「長期優良住宅」の認定基準のなかで、構造躯体等の劣化対策として劣化対策等級3が必要になります。

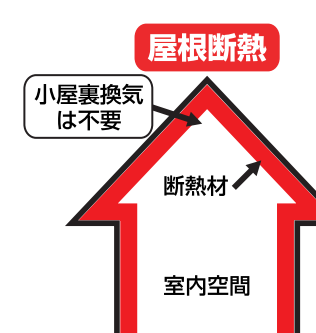
〔劣化対策等級3とは通常想定される自然条件及び維持管理の条件の下で3世代(おおむね75~90年)までもつために必要な対策がとられているものになります。〕

天井断熱



小屋裏換気が必要

屋根断熱



小屋裏換気は不要

「長期優良住宅」では、天井に断熱材を設ける「天井断熱」の小屋裏には、構造躯体の劣化対策として、認定基準に定めた小屋裏換気措置(換気孔)が必要となります。小屋裏の通気をよくして、熱気・湿気等を取り除くために換気孔を設けることとなりますが、実際の住宅では複雑な屋根形状や住宅自体の立地条件等で、熱気・湿気を取り除くために必要な換気が出来ていない場合もあります。そこで、安定した換気確保できる機械換気を提案します。

注：屋根断熱とする場合、天井より上の部分は室内と同じ環境(状態)となり小屋裏空間は劣化対策等級3による小屋裏換気措置は必要ありません。

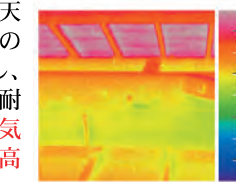
### 2 丈夫な躯体を維持するための機械換気の有効性

「長期優良住宅」として住まいを長持ちさせるための、「天井断熱」の小屋裏換気措置(換気孔)の自然通風による換気に、機械による強制換気をプラスすることで、気候や季節の変化、また建物周囲の環境に影響されず常に安定した換気ができるメリットが生まれます。

### 3 小屋裏環境の実状


夏場の小屋裏では

「天井断熱」の場合には、日射による熱が直接野地板の裏面に伝わり、輻射熱を小屋裏空間に放ち続けて小屋裏内の気温を上昇させてしまい暑い時期には60℃近くに達することがあり、時には60℃を超える場合もあります。このように小屋裏は過酷な環境になります。これでは断熱材が天井裏に設置されていても完璧な断熱は難しく、室内側の温度が上昇する原因になっています。また、木材は乾燥し、木材の中の必要な水分までも乾燥してしまい、木材の耐久性という点では劣悪な環境にあります。小屋裏を換気し温度を下げることは、木造の建物にとって耐久性を高めるという点では非常に大きな役割をもっています。



冬場の小屋裏では

寒い季節に、小屋裏に進入した水蒸気は、外気で冷やされた屋根裏の野地板や棟材などの表面で結露を発生させることとなります。当然ながら結露は屋根の部材を劣化させることとなります。特に小屋裏の水蒸気の排出は建物の耐久性という点で非常に重要な点となります。



### 1時間当りの換気回数...約7回

換気扇2台設置  
小屋裏気積65m<sup>3</sup>  
(小屋裏面積約20坪)の場合

### 小屋裏の換気は「日射によって上昇した小屋裏内部の温度を下げる」こと、「室内、室外から浸入した水蒸気を排出」することで、住宅の耐久性を左右する重要な機能を持っています。

